

2025 年 第 22 回 ROTAX MAX FESTIVAL

in Mobility Resort MOTEGI



MOBILITY RESORT MOTEGI

2025 特別規則書

公示

本競技会は、一般社団法人日本自動車連盟(以下「JAF」という)の公認のもとに FIA 国際モータースポーツ競技規則/国際カート規則、ならびにその付則に準拠した JAF の国内競技規則/JAF 国内カート競技規則およびその付則、ROTAX MAX Challenge

Sporting Regulations 2025、ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2025、および本大会特別規則書、大会公式通知に従って開催されます。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 競技会の名称

2025 ROTAX MAX FESTIVAL in Mobility Resort MOTEGI
(以下、フェスティバルと表示します)

第2条 大会コンセプト

3. スポーツマンシップに準じ、技術向上と選手育成を目指します。
4. グローバルなカートレースに通用する選手を輩出します。
5. 大会に関連する参加者すべてのマナー向上を目的とし、安全で公平なレース運営を目指します。

第3条 競技種目

第 1 種競技車両によるスプリントレース

第4条 競技会の開催クラス区分と格式

開催クラス区分と格式は、表.1 を参照ください。

第5条 開催日程

2025 年 10 月 11 日(土)～10 月 12 日(日)開催

注 1、タイムスケジュール、追加事項は確定次第公式通知でご案内いたします。

注 2、RMC シリーズとは競技方式や内容が一部異なります。

※諸事情により急遽予定が変更になる場合には、HP 上にてご案内いたします。

TEL : 052-803-7055/FAX : 052-803-7085

E-Mail : mail@eikoms.com

表.1

Class 格式	Class Held					
	Micro MAX	MINI MAX	Junior MAX	MAX Lights	MAX Masters	Senior MAX
クローズド格 式	○	○	○	○	○	○

第6条 開催場所と大会事務局

モビリティリゾートもてぎ 北ショートコース

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町桧山 120-1

TEL : 0285-64-0200 / FAX : 0285-64-0209 (10:00～16:00)

第7条 オーガナイザーの名称と所在地

主催：ホンダモビリティランド株式会社

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町桧山 120-1

TEL : 0285-64-0200 / FAX : 0285-64-0209 (10:00～16:00)

共催兼、イベントプロモーター：株式会社 栄光

〒468-0052 愛知県名古屋市中白区井口 1-1709



第8条 競技会組織委員会および審査委員会

大会公式通知にてご案内いたします。

第9条 競技会競技役員

大会公式通知にてご案内いたします。

第10条 審判員[競技オフィシャル]

1. JAF 国内競技規則 10-20 に基づく審判員の判定は、本大会特別規則を参照に実施します。
2. 審判員[競技委員]の氏名は、公式プログラムもしくは公式通知で示されます。

第11条 公式通知に関する事項

本規則書に記載されていない競技運営上の細則や、参加者に対する告知等、本規則発表後に生じた必要事項は、公式通知またはインフォメーション、アナウンスにてご案内いたします。

第12条 大会の延期、中止または取り止め、および変更に関する事項

JAF 国内競技規則 カート競技会組織に関する規定に基づき、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の一部あるいは全部を延期、中止または取り止めることができます。大会の全部を中止、あるいは 24 時間以上延期する場合は、参加料は全額返還されます。ただし、保険料は返還されません。なお、エントラントおよび選手は、これによって生じる損失について、主催者に抗議する権利を保有しません。さらに、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとします。

第2章 競技会参加に関する事項

第13条 エントリーの申し込み

1. 受付期間：2025 年 9 月 7 日から 9 月 28 日までとします。

詳細の日程は下記表を参照してください。

開催日	エントリー期間	遅延エントリー期間
10 月 11 (土) ～12 日 (日)	9 月 7 日(日)～21 日 (日)	9 月 22 日(月)～28 日(日)

2. エントリー方法

1) WEB エントリー専用ページから申し込みください。

URL : https://www2.ms-event.net/mrmweb/user/?a=race.race_entry_list

2) 参加要項を確認し、必要事項すべてを入力してください。

3) MCoM/SMSC 会員の方は、会員番号を必ず記入してください。会員期限が切れている場合は非会員の料金となります。

4) WEB エントリー完了後、エントリーフィーをレース開催前までに必ず決済してください。

また、レース当日のご精算は当日手数料として 1,000 円追加となります。

5) 未成年のドライバーは、誓約書・承諾書に親権者または保護者の署名と実印での捺印、およびその印鑑登録証明書(3ヶ月以内に取得したもの)が必要となります。ただし、本年度もてぎカートレースに出場し、書類を全て提出しているドライバーについては提出の必要はございません。

2. 決済方法

下記、どちらかの決済方法で決済ください。WEB エントリー時に確定した金額をご確認頂き、決済するようにお願いします(2重支払いにご注意ください)。

クレジットカード決済

コンビニ決済

3. 参加受理と参加拒否、参加料金の返金規定

1) 参加申込者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通知されます。

2) 参加を拒否された申込者に対しては参加料が返金されます。振込で返金する場合は、事務局手数料 2,200 円(税込)を差し引いた金額を返金します。

参加を取り消す申込者に対する参加料金返金規定

① 参加申込期間(遅延申込期間も含む)内に参加を取り消した場合

⇒事務局手数料 1,100 円(税込)を差し引いた額を返金

② 参加申込期間(遅延申込期間も含む)終了後～参加受理書発送前までに参加を取り消した場合

⇒参加料金の 50%を返金

③ 参加受理書発送後に参加を取り消した場合

⇒返金無し

※ドライバーおよびピットクルーの MS 共済会に暫定加入申請した場合は、その暫定共済会会費については全額返金します。

※返金は指定口座への振込となります。

第14条 もてぎ・鈴鹿(MS)共済会

1) モビリティリゾートもてぎにおいてスポーツ走行、および競技に参加するドライバーおよびピットクルーは、もてぎ・鈴鹿(MS)共済会に加入が必要となります。

2) MS 共済会は年間加入または暫定加入となります。

① 年間加入は MCoM/SMSC 会員として登録され所定の共済会費を納めた者として。

<走行会員:10,000 円・ピットクルー:4,000 円>

② 暫定加入は大会(特別スポーツ走行、練習走行、予選、プレファイナル、決勝)のみ有効です。

<走行会員:3,000 円・ピットクルー:500 円>

第15条 参加定員

1. 参加定員

Class	参加台数	Class	参加台数
Micro MAX	34 台	MAX Masters	68 台
MINI MAX	51 台	Senior MAX	68 台
Junior MAX	51 台	MAX Lights	34 台

2. 参加台数が 10 台に満たない場合、他のクラスと混走になることがあります。
3. 参加台数が 3 台未満(2 台)の場合、当該クラスを不成立とする場合があります。不成立となった場合、大会 3 日前までに当該選手へ通知いたします。不成立となった場合、エントリーフィーは全額返金いたします。
4. 参加受付台数が受付台数以上あった場合、規則に準じ予選後に参加台数を制限します。
5. 予選ヒート、決勝ヒートのフルグリッド台数
全クラス、予選ヒート、決勝ヒートのフルグリッド台数は 34 台とします。フルグリッド以上の参加台数となった場合、予選ヒートにて決勝ヒート進出選手を決定します。

第16条 参加資格

1. 選手資格

Micro MAX

- ・当該年度年齢：小学 1 年生～中学 1 年生
- ・本年度に有効な JAF カート国内ジュニア B ドライバーライセンス以上または、本年度に有効な SL ドライバーライセンスカデット以上所有者。

注1 小学 1 年生で参加する場合、主催者が認めた実績かつ技術のある選手に限られます。この場合、親権者の傷害事故に関する承諾も必要になります。

注2 公認のドライバーライセンスを取得できない選手は、MCoM/SMSC 会員にて出場を認めます。

MINI MAX

- ・当該年度年齢：小学 4 年生～中学 2 年生
- ・本年度に有効な JAF カート国内ジュニア B ドライバーライセンス以上、本年度に有効な SL ドライバーライセンスカデット B 以上、または MCoM/SMSC 所有者。

Junior MAX

- ・当該年度年齢：小学 5 年生～15 歳
- ・本年度に有効な JAF カート国内ジュニア B ドライバーライセンス以上、または主催者が認めた有効なドライバーライセンス(MCoM/SMSC)保有者。

MAX Masters

- ・当該年度年齢：25 歳以上
- ・本年度に有効な JAF カート国内 B 以上、JAF カート国内条件付き以上、または MCoM/SMSC 保有者。

注3 カートライセンス条件付選手と通常競技ライセンス保有者が混走となる場合があります(JAF 申請認可のもと開催)。

注4 カートライセンス条件付選手が使用するカートは、ハンドアクセルとハンドブレーキが搭載されたリブレカートとなります。

注5 通常のコース安全対策とは違ったサポートを導入実施します。また競技に関する注意事項を参加者全員に告知し、了承していただいた上で競技を開催いたします。

注6 その他の処置または対応に関しては、公式通知に示されます。

Senior MAX

- ・当該年度年齢：14 歳以上
- ・本年度に有効な JAF カート国内ジュニア B 以上、または MCoM/SMSC 保有者。

MAX Lights

- ・当該年度年齢：15 歳以上
- ・本年度に有効な JAF カート国内 B 以上、または MCoM/SMSC 保有者。

2.ピットクルー登録

- ④ 全クラス 16 歳以上とし、選手 1 名につき 2 名まで登録可能です。
- ⑤ ピットクルー登録料は MCoM/SMSC 会員・非会員共通 2,000 円/名(税込)です。

※非会員は別途 MS 暫定共済会会費が必要です。(第 14 条参照)

第17条 レース参加に必要なものと傷害保険への加入義務**1. ライセンス**

出場クラスに適合したライセンス、またはコースライセンス(主催者またはエントラントが認めた証明)が必要になります。

2. 競技会参加に関する誓約書

情報ダウンロードページより承諾書・誓約書をプリントアウトし提出をしてください。

参加選手が 18 歳未満の場合、親権者の署名・実印の捺印、競技会より 3 ヶ月以内に取得した印鑑登録証明書をレース参加受付時前に提出願います。

情報ダウンロードページ URL:

3. 競技規則書

競技当日まで、必ず特別規則を読んで理解してください。

4. 傷害保険への加入義務

参加者の方へ

- ・障害、死亡・後遺障害補償のある保険加入証明ができるもの、および保険証はコピーを持参願います。

ピットクルー、メカニックの方

- ・ピットクルー・メカニックの方も傷害保険加入を推奨いたします。

第18条 参加料金**1. 基本参加料(税込)**

MCoM/SMSC 会員	全クラス	33,000 円
非会員	全クラス	45,000 円

2. 自動計測装置(トランスポンダー)レンタル料

今大会は全ドライバーレンタルとなります。レンタル料は下記のとおりです。

レンタルボンダー料 6,000 円

第3章 競技に関する事項**第19条 参加車両**

2025 年 JAF 国内カート競技車両規定、RMC Sporting Regulations 2025、RMC Technical Regulations 2025、および本規則書の車両規定に従って開催されます。

第20条 選手の装備品**1. レーシングスーツ**

レーシングスーツは皮製または、JAF 公認のレーシングカートスーツもしくは、CIK/FIA 公認実績のあるレーシングカートスーツの着用が義務付けられます。ただし、破れ、ほつれ、汚れの激しいものは使用が認められません。

グローブ(手袋)、シューズ(足首まで保護する靴)など、それぞれ丈夫なものを使用してください。ただし、軍手、ビニール手袋、かかとのあるシューズ等は認められません。

2. ネックガードおよびリブプロテクター

- (1) 12 歳(小学生)以下の選手はネックガードおよびリブプロテクターを必備とします。
- (2) Micro MAX、MINI MAX、Junior MAX に参加する 12 歳(小学生)以下の選手はネックガードおよびリブプロテクターを必備とします。

(3) 13 歳(小学生以外)以上の選手にも、ネックガードおよびリブプロテクターの装着を強く推奨します。

2. ヘルメット

1) ヘルメットはフルフェイスタイプとし規格公認品を使用し、保護の役割を果たさないと判断した場合や著しく損傷しているものは使用不可とします。また、使用年数が 10 年を超えるものも使用できません。

15 歳以下の選手に対し、CIK 公認ジュニア用ヘルメットの装着を推奨します。

2) シールドおよび捨てバイザー

走行中に、シールドが外れかけている場合は、オフィシャルが危険と判断しオレンジボールの対象となりますのでご注意ください。また、捨てバイザーは使用禁止とします。

第21条 競技番号(ゼッケン)

1. 番号

各クラスのゼッケンは、1 番から 99 番の範囲といたします。

各クラス 2025 年 ROTAX MAX Challenge JAPAN シリーズの 10 月 1 日時点でのランキング (MAX Festival エントリー締め切り日) を基準に、主催者がゼッケンナンバーを指定いたします。

エントリー時に希望ゼッケンナンバーがあったとしても、一切受け付けいたしません。

各クラスに欠員が出た場合、一度決めたゼッケンナンバーを変更する場合があります。

また欠員のいる場合のレースでは連番とならないことがあります。

条件付き選手は、3 桁ゼッケンとします。

2. 色

全クラス黄色ベースに黒文字となります。

第22条 自動計測装置(トランスポンダー)

1. 参加選手は、オーガナイザーより貸し出された自動計測装置(トランスポンダー)を使用することとします。トランスポンダーは競技終了後すみやかに返却してください。万が一破損、紛失した場合、1 個につき 55,000 円(税込)をオーガナイザーまたは、計測器所有者へ支払っていただきます。高価な計測装置につき、ご理解いただきますようお願いいたします。
2. 貸し出した自動計測器(トランスポンダー)に計測不良がおきた場合、レース中の交換可能な時間を判断し別の自動計測装置(トランスポンダー)に交換します。その場合もゼッケン番号に変更はありません。
3. 自動計測装置(トランスポンダー)は参加受付時に配布します。また、貸し出した自動計測装置(トランスポンダー)は、決勝ヒート終了後にパルクフェルメで回収します(ご自身のホルダーをお使いの方は自動計測装置のみ返却してください)。
4. トランスポンダーの付け忘れに関しては、いかなる場合も「必備部品違反」とし、ノータイムとします。また、トランスポンダー取り付け位置は、車両座席(シート)の後部、またはシートステー(ブレーキ側)に取り付けるものとし、地面との距離は約 30cm の高さに取り付けするよう留意してください。

第23条 燃料(ガソリン)の指定と検査

JAF 国内カート競技車両規則 第 2 章 第 25 条に準じ、ガソリンスタンド計量器から販売されている一般市販の無鉛ハイオクガソリンを使用してください。

指定ガソリンスタンド制を採用します。

1. 指定ガソリンスタンド

モビリティリゾートもてぎ 第 1 パドック内ガソリンスタンド (ENEOS)

営業時間：10 月 9 日(木)/10(金)/11(土)/12(日)

指定ガソリンスタンドでのガソリン購入は、レースウィーク中のご利用を推奨いたします。

【ご注意】 ガソリン携行缶は消防法適合品のステッカーが貼られているものに限り給油し、一缶の給油量は 18L 以内で対応します

2. 車検でのガソリン検査

技術委員長の任意により、各ヒート後に使用した燃料(ガソリンや混合オイル含む)の成分検査を行います。違反が認められた場合、技術委員長は審査委員会へ報告し審査委員会の判断によりペナルティとなる場合もあります。

サンプルガソリンと明らかに色が異なる場合

参考：混合ガソリンの色違い



サンプルガソリンと色は同じだが、

判定数値が異なる場合上記、1)、2)いずれも、次ヒートより主催者が用意したガソリンとオイルを使い走行してください。

3. 主催者が用意したガソリンを使用する場合

車検場へポリミックスを持参し、車検スタッフ立ち合いのもと、ガソリンとオイルを受け取り、その場で混合し、以降そのガソリンを使用してください。
使用したガソリンとオイルの代金は、後日、所属チームを通してご請求させていただきます。

第24条 ブリーフィング(ドライバーズミーティング)

参加選手およびエントラントは、必ずドライバーブリーフィングに参加しなくてはなりません。ブリーフィングに参加しない場合は、ペナルティの対象となります。
エントラントミーティングを実施することがあります。開催する際は各エントラントへ事前に連絡いたします。
大会当日、交通事情等によってブリーフィング開始時間に到着出来なかった場合は、事前に連絡があった場合に限り、大会事務局に遅延理由書を提出し競技参加が認められる

場合があります。ただしタイムトライアル出走前までとなり、大会審査委員会の許可が必要となります。

第25条 ダミーグリッド

参加選手はタイムスケジュールに準じ、指定のダミーグリッドにて出走準備をしなくてはなりません。ダミーグリッドに入場した後は、メカニック作業は禁止され、部品の交換、工具の使用、給油、ケミカル用品の使用等も禁止されます。ただし、タイヤ空気圧を調整するためのエアゲージ使用は認めます。ここでいうエアゲージとは空気圧を計る機能のものです。※エアを送り出す機能のある器具、機械工具は使用不可
これに違反した場合、出走を取り消されその競技に参加することは出来ません。

1. 場所

タイムトライアル、予選ヒート、プレファイナルヒート
ピットロード上ダミーグリッド
ファイナルヒート
ホームストレート

注 1) 工具を使った作業を行う場合は、進行委員または技術委員にその旨を説明し、指定された場所のみ作業が認められます。

注 2) 急激な天候変化の場合、ダミーグリッドでタイヤ交換のみ認める場合があります。その場合はアナウンス等で案内いたします。案内があるまで作業はできません。違反した場合、ペナルティの対象となります。

第26条 エンジン暖機に関して

パドック内ではエンジンの始動チェックのみが行えます。
 パドック内でのエンジンの暖機運転、空吹かしは禁止されます。
 エンジン暖機に関する違反はペナルティの対象となります。

スタート前にエンジン始動チェックが出来る場合
 タイムトライアル、予選ヒート、プレファイナルヒート
 ピットロード上ダミーグリッドのみ

ファイナルヒート（決勝ヒート）

ホームストレートのみ

エンジンに不具合が生じた場合、技術委員への申告のうえ、技術委員長が任命した
 オフィシャル立会いのもと、指定された場所で暖機が許可されます。

第27条 レース方式

1. レースは、タイムトライアル、予選ヒート(Micro クラスは複数回予選で実施予定)、
 プレファイナルヒート（1組または2組で実施予定）、ファイナルヒート（決勝ヒート）
 とし、ファイナルヒートの結果により最終順位を決定します。レース方式の詳細や、
 周回時間等の変更がある場合、公式通知で発表します。
2. 新たな方式を導入する場合は公式通知、タイムスケジュールにて通知します。

第28条 フリー走行

1. 10月9日(木)の特別スポーツ走行時に自動計測装置(トランスポンダー)チェックを
 実施します。
2. 10月12日(日)に各クラスのフリー走行（タイヤ自由）を5分間実施します。
 ※変更の場合は公式通知で発表します。
3. 公式練習走行の設定はありません。

第29条 タイムトライアル

1. すべての選手は、公式通知に記載された時間内で、タイムトライアルに参加しなければ
 なりません。各クラスの参加台数によってグループ分けされ、当該クラス全車が同時にタイム
 トライアルを行います。
2. タイムトライアルに参加しない場合は、ノータイムとなり予選ヒートは最後尾（または最後
 列）スタートとなります。
3. タイムトライアルの計測時間は、**5分間（変更の場合は公式通知で発表）**とし、
 そのベストタイムを採用します。
4. 計測時間内であれば選手は各自のタイミングでコースインすることができます。
 時間内であれば途中で止まった場合も再トライすることができますが、ピットイン、パドック
 インした場合は再トライできません。
5. 計測は、コースイン後にスタートラインを通過した車両に対して、全てのラップを計測し、
 ベストラップのタイムを採用します。
 義務周回数は定めません。
 記録したベストタイムが同タイムの場合は、当該選手が記録したセカンドラップを採用
 します。さらに同タイムとなった場合は、サードラップタイムで決定いたします。
 計測が出来なかった車両についてはノータイムとし、最後尾よりスタートとなります。
 複数台の車両がある場合は、ゼッケン順に配列されます。
 タイムトライアルが何らかの理由により中断された場合、残り時間でタイムトライアルを再開
 します。再タイムトライアルの時間は、大会審査委員会が変更する場合があります。
6. タイムトライアル中、計測機トラブルによってラップタイムが計測できない事態がおきた場合
 は、計時委員による手計測のタイムまたは参加者自身の車両に搭載されているデータ
 ロガーのタイムを採用する場合があります。
7. フロントフェアリングの正しい装着状態確認は、タイムトライアル後の車検(パルクフェルメ内)
 で実施し、不具合がある場合は、第8章第65条に準じて判断します。
8. 参加台数が多い場合、2組または3組のグループ分けを行います。
 グループ分けは、参加受付時の抽選にて決定します。決定した各組の選手は公式通知で

発表され、タイムトライアル終了までグループ分け走行を行います。

※出走順は 1 組からスタートします。

9. 計測開始の流れ

計測開始：開始時間と同時にメインポストから計測中ボードが掲示されます。

計測中：計測中ボード掲示後、コントロールラインを通過した車両から順に、計測が開始されます。計測時間内にコントロールラインを通過した全てのタイムを計測します。

計測終了：計測時間終了と同時に、メインポストにてチェッカーフラッグが掲示され、タイムトライアル終了となります。

10. その他の方法でタイムトライアル行う場合は公式通知に示されます。

第30条 グループ予選ヒート（以下、予選ヒートと称します）

1. 方式およびグリッドの決定

MAX Lights

(1) 予選ヒート回数：2 回

(2) 予選ヒート 1 のグリッド決定方法は、タイムトライアルの成績順とします。

(3) 予選ヒート 2 のグリッドは予選ヒート 1 のベストタイム順とします。

(4) 決勝ヒートは予選ヒート 1 と予選ヒート 2 の獲得ポイント順とします。

※同ポイントの場合は、タイムトライアルの成績順とします。

(5) 予選ヒートのグリッド決定の優先順位

① 予選ヒートを完走し車検を通過している選手

② 予選ヒートが未完走(DNF)で車検を通過している選手

③ 予選ヒートをスタートできなかった(DNF)選手

④ 予選ヒートで失格(DQ)になった選手

⑤ 予選ヒートの後、エンジン交換、フレーム交換によって最後尾になった選手

注 1 予選ヒート 1 のベストタイムが同タイムの場合は、予選ヒート 1 のリザルト順とします。

注 2 失格者が複数いた場合は、予選ヒート 1 のリザルト順とします。

(6) 予選ヒート 1 でペナルティを受けた選手は、次の通り予選ヒート 2 のグリッド順へ反映します。

・タイム加算ペナルティ、グリッドダウンペナルティを受けた選手に対しベストタイム順のグリッドから、一律 3 グリッドダウンとします。

Micro MAX、Mini MAX

(1) 予選ヒート回数：3 回

(2) 予選ヒート 1 のグリッド決定方法は、タイムトライアルの成績順とします。

(3) 予選ヒート 2 のグリッドは予選ヒート 1 のベストタイム順とします。

(4) 予選ヒート 3 のグリッドは予選ヒート 1 と予選ヒート 2 の獲得ポイント順とします。

※同ポイントの場合は、タイムトライアルの成績順とします。

(5) 予選ヒートのグリッド決定の優先順位

① 予選ヒートを完走し車検を通過している選手

② 予選ヒートが未完走(DNF)で車検を通過している選手

③ 予選ヒートをスタート(DNS)できなかった選手

④ 予選ヒートでヒート失格(DQ)になった選手

⑤ 予選ヒートの後、エンジン交換、フレーム交換によって最後尾になった選手

注 1 予選ヒート 1 のベストタイムが同タイムの場合は、予選ヒート 1 のリザルト順と

します。

注2 失格者が複数いた場合は、予選ヒート 1 のリザルト順とします。

(6) 予選ヒート 1 でペナルティを受けた選手は、次の通り予選ヒート 2 のグリッド順へ反映します。

・タイム加算ペナルティ、グリッドダウンペナルティを受けた選手に対しベストタイム順のグリッドから、一律 3 グリッドダウンとします。

タイムトライアル 1 組			タイムトライアル 2 組		
順位	タイム	予選グループ	順位	タイム	予選グループ
1 位	31.242	A	1 位	31.245	B
2 位	31.245	C	2 位	31.248	A
3 位	31.250	B	3 位	31.253	C

例 1：予選ヒート 1 の成績がコリドー違反で 3 秒加算のペナルティとなった

例 2：予選ヒート 1 の成績がフェアリングペナルティで 5 秒加算のペナルティとなった

※例 1, 例 2 ともに予選ヒート 2 のグリッド順は、予選ヒート 1 のペナルティ内容にかかわらず、ベストタイム順で並べられたグリッドから **3 ポジションダウン**とします

グループ予選ヒートの周回時間

Junior MAX、MAX Masters、Senior MAX

タイムトライアルの結果からグループ分けを行い、A、B、C、D の 4 グループまたは 3 グループを編成し総当たりの予選ヒートを行います。

予選ヒートのグリッド決定順は、タイムトライアルの結果により 1 位は最速タイムを出した組(1 組と呼ぶ)の最速タイム(総合最速タイム)とし、2 位は他方の組(2 組と呼ぶ)の最速タイム、3 位は 1 組の 2 番目の最速タイム、4 位は 2 組の 2 番目の最速タイムとし、以下同様に決定します。1 組と 2 組のタイム差が **101%を超えない**場合でも、グリッド決定の方法は変わりません。予選ヒートの方法やスタート順が変更になる場合は、公式通知とタイムスケジュールで発表いたします。

グリッド決定注意事項

(1) 各選手のグループ予選ヒートグリッドは、グループ戦終了まで変更ありません。

(2) 各予選ヒート後のリザルトポイント反映順

- ⑥ 完走し車検を通過している選手
- ⑦ 未完走(DNF)で車検を通過している選手
- ⑧ スタート(DNS)できなかった選手
- ⑨ ヒート失格(DQ)になった選手
- ⑩ エンジン交換、フレーム交換によって最後尾になった選手

注1 ⑤の場合、事前に発表したグリッド順を改定します

注2 リタイア届けが規定通り出された場合、事前に発表したグリッド順を改定します

スタート 30 分前を切った場合、グリッド順改訂は出来ず、参加出来ない車両

ポジションは空席となり、発表したグリッドポジションで次ヒートのレースを行います。

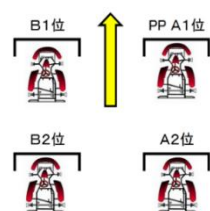
例：3 グループに分けた場合 <タイムトライアルの成績によって編成>

【3 グループ予選ヒートのスタート順とグリッド】

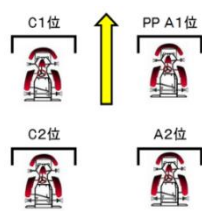
Class	レース時間	Class	レース時間
Micro MAX	規定時間 + 1 周	MAX Lights	規定時間 + 1 周
MINI MAX		MAX Masters	
Junior MAX		Senior MAX	

B x C ⇒ A x C ⇒ A x B

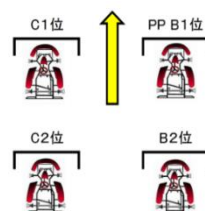
予選ヒートのグリッド例



QH A-B



QH A-C



QH B-C

A、B、C、Dの4グループの場合 <<タイムトライアルの成績によって編成>>

タイムトライアル 1 組			タイムトライアル 2 組		
順位	タイム	予選グループ	順位	タイム	予選グループ
1 位	31.242	A	1 位	31.245	B
2 位	31.245	C	2 位	31.248	D
3 位	31.250	A	3 位	31.253	B

【4グループ予選ヒートのスタート順】

 $B \times C \Rightarrow A \times D \Rightarrow B \times D \Rightarrow A \times C \Rightarrow C \times D \Rightarrow A \times B$ **第31条 予選ヒートポイント ※プレファイナルヒートも同じポイントです**

1. ポイントは、次の表に示す各順位のポイントを各選手に付保します。

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	0	10	10	19	19	28	28
2	2	11	11	20	20	29	29
3	3	12	12	21	21	30	30
4	4	13	13	22	22	31	31
5	5	14	14	23	23	32	32
6	6	15	15	24	24	33	33

7	7	16	16	25	25	34	34
8	8	17	17	26	26		
9	9	18	18	27	27		

- 各選手は出走した予選ヒートで獲得したヒートポイントの合計を各選手の予選ヒートポイントとして累積されます。
- 予選ヒートポイントは、全ヒートが終了した時点で予選総合結果として集計されます。
 - ペナルティ行為があって順位が降格した場合、降格した順位のポイントを付与します。
 - 当該ヒート DNF の選手は周回数通りの着順とし、その順位通りのポイントとします。
 - 当該ヒート DNS の選手は、ヒートグリッド台数に**+1**ポイントが加算されます。
 - ヒート失格の場合、ヒートグリッド台数に**+5**ポイントが加算されます。
- 各予選ヒートのヒートグリッド台数基準
 - 参加した予選ヒートのグリッド台数
- 天候急変やアクシデント等の諸事情で、タイムトライアル、予選ヒート、プレファイナルヒート、ファイナルヒートを含む各クラスのスタート順や、周回時間を変更する場合があります。
※変更になる場合は、アナウンス、及び公式通知で発表します。

第32条 プレファイナルヒート

- 1.【 Micro MAX クラス 】・・・予選ヒートで獲得した予選ヒートポイントの合計を上位順に並べ、グリッド順を決定し、1回のプレファイナルヒートを実施します。
- すべての獲得ポイントが同ポイントの場合、タイムトライアル結果の成績順位を元にグリッド順を決定します。

- 2.【 その他のクラス 】・・・予選ヒートで獲得した予選ヒートポイント合計を上位順に並べ、一番少ないポイントのドライバーを A、次点のドライバーを B とし、総台数を A と B に振り分け、A と B の 2 組でプレファイナルヒートを実施します。すべての獲得ポイントが同ポイントの場合、タイムトライアル結果の成績順位を元にグリッド順を決定します。
- ※この場合、A からスタートします

レース方式やその他の決定方法、変更に関しては公式通知で発表します。

プレファイナルヒートの周回時間

Class	レース時間	Class	レース時間
Micro MAX	規定時間 + 1 周	MAX Lights	規定時間 + 1 周
MINI MAX		MAX Masters	
Junior MAX		Senior MAX	

第33条 ファイナルヒート（決勝ヒート）

1. 予選ヒートポイントとプレファイナルヒートポイントを集計し、総合結果の順位から予選を通過した選手のみ決勝に出場できます。
- ファイナルヒートのグリッド順は、すべての予選ヒートポイントとプレファイナルヒートポイントを合算し、そのポイントが少ない方からグリッド順を決定します。
- 34 位から下の選手は予選落ちになります。
- 2.ファイナルヒートのグリッド決定の優先順位
- 予選ヒートポイントの合計が同ポイントの場合、タイムトライアルの順位を優先します。

- 3.ファイナルヒートに参加出来ない選手が発生した場合、スタート 30 分前までにリタイア届が提出され受理された場合に限り、その空いたグリッドを詰めて再度グリッド編成をする場合があります。
- 4.各クラスの暫定優勝選手は、ウイニングランをおこなう場合があります。
- 5.決勝で同着の場合は、その順位を各対象者に与えます。
- 例：2 着が 2 名いた場合 ⇒ 1 位、2 位、2 位、4 位….

ファイナルヒートの周回時間

Class	レース時間	Class	レース時間
Micro MAX	規定時間 + 1 周	MAX Lights	規定時間 + 1 周
MINI MAX		MAX Masters	
Junior MAX		Senior MAX	

第34条 スタート

1. スタート手順は下記のとおりです。
- 1)スタート方式はローリング(2 列の縦隊列)スタートとします。
- タイムトライアル、予選ヒート、プレファイナルヒートはピットロード上ダミーグリッドからコースインとなります。ファイナルヒートは、オフィシャルの指示のもとコース内に進入し、ホームストレート上をダミーグリッドとします。車両をグリッドに置いたあとはコース内から車両スタンドを速やかにピットエリアに移動してください。サポートとしてコース内に残ることができるのは、登録ピットクルーのみとなります。
- 2)フォーメーションラップ 1 周後、ローリングラップで隊列を整えスタートします。ただし、レース進行が大幅に遅れた場合はローリングラップのみ 1 周しスタートする場合があります。また、外気温度が著しく低く暖気走行が必要な場合や新品タイヤの装着で危険が予測される場合など競技長が必要と判断した場合はフォーメーションラップの周回を増やす場合があります。
- 3)フォーメーションラップ開始後スタート信号灯にレッドライトが点灯されます。ラップ中の

ヒーティング行為は認められますが、走行中の安全性確保が条件となります。

ヒーティング中のスピン、他車への接触等の行為はペナルティとなります。また 2 列の隊列が形成された後、先頭が追い越し禁止区間(ポジション復帰禁止)の 9 コーナー立ち上がりのレッドラインからスタートラインまではヒーティング行為禁止となります。

- 4)ローリングラップ中の選手は低速走行し、円滑な隊列を守りながらスタートラインへ向かいます。隊列はスピード調整のボード提示を確認しペースコントロールをしながら 25m ラインを目指します。
- 5)スタート合図の信号灯に不具合が発生し動作不良になった場合、車両にスタート合図を知らせる方法は、日章旗を提示振動します。
- 6)ローリングラップ中に、隊列から大きく遅れたと判断された選手に対し、白地に赤×(バテン)ボードが提示され、その選手は隊列の最後尾（または最後列）に着かなくてはなりません。
ミススタートとなった場合も解消されません。
また、ローリングラップ中にストップしてしまった車両は確実に全車通過、安全に自力で再スタートできた場合に限り隊列の最後尾につくことができます。ただし、危険地帯での停止等の場合、オフィシャルが手を貸してコーススペースをクリアにする場合があります。この場合の再スタート判断は競技長が決定し場合によっては審議対象になる場合があります。また、ローリング隊列に遅れた選手はコース内でスピード調整をして隊列の前からペースを落とし自分のグリッドに戻ることはできません。前方から戻った場合は、選手に黒旗が振られ当該ヒート失格となります。
- 7)ローリングラップ中のポジション復帰禁止区間は、9 コーナー立ち上がりにかかれた赤い線上からスタートラインまでとなります。(左右に設置してある赤いパイロンが目印)この区間中にポジション復帰のため追い越しをするとペナルティとなります。復帰違反の場合は、選手に黒旗が振られ当該ヒート失格となります。
- 8)不出走、白地に赤×でいなくなったポジション、ローリング中に停止した車両がいたポジションと、空席となったグリッドは他の車両によって詰めてはならず、スタート合図が出されるまで空席が維持されなければなりません。

9)先頭グループは、後続の隊列を乱さないようにスピードを調整しなくてはなりません。

これに違反した場合はペナルティが課せられます。ポールポジションでも、急加速によって隊列を乱す行為はペナルティとなります。すべての車両は隊列を守り、隊列を乱す行為はペナルティの対象となります。

10)選手は隊列のスピードとポジションを守り、安全にスタート出来るよう心がけてはなりません。自身の車両が不調に陥り加速出来ない場合や隊列内にいると危険だと予想された場合、必ずドライバーサインで周りに知らせ、安全に車両を停止させなければなりません。また以下の行為により赤旗によって競技が中断された場合、赤旗中断後の再スタート時のグリッドは、審議によって最後列になる場合があります。

- (1) グリッド最後尾（または最後列）になるような行為
ローリングラップ中の隊列を著しく乱す走行や追突を招くような急減速な危険運転。
ポジションを守れない走行等によってスタートを遅延させた場合。

- (2) ヒート失格になるような行為
ローリングラップ走行中、悪質な危険走行や多重クラッシュを招くような行為によって競技を継続できないような事故原因を発生させ競技を中断させた場合。

11)隊列のポールポジションがスタートライン手前 25mラインを超え、加速を始めたとき競技長が判断した時点で、レッドライトを消灯しスタート合図を全ドライバーに送ります。この時、セカンドポジション選手はポールポジションのドライバーより先に加速を始めてはなりません。セカンドポジション選手の加速が早かったとき競技長が判断した場合や、ポールポジションより先に加速を始めた選手、グリッド位置を詰めたりする選手、プッシング等の違反行為をしていた選手は、競技終了後にペナルティが課せられます。※この時、警告旗や警告ボードなどを使用します。(違反行為に関しての審議はビデオ判定となります)

12)レッドライト消灯と同じタイミングでピットエリアにスタートを知らせるため日章旗をメイン(センター)ポストで振ります。
スタート合図が出ればセンターの白線をカットしても問題ありません。ただしスタートの

合図が出る前に、センターの白線からのタイヤはみ出しや、隣の車両と接触するような行為をした場合は白黒旗が提示され、ペナルティの対象となります。

[スタートデレイ]：隊列の間隔やスピードが思わしくないと判断され、スタートができずローリングラップをさらに 1 周行う場合には、レッドライトの点灯を続けます。このとき選手は手を上げ、もう 1 週の合図を出し、再びスタートの合図が出るまでグリッドポジションの変更や追い越しをしてはなりません。これに違反した場合はペナルティの対象となります。

[ミススタート]：スタートを切った際、何らかの疑似が生じた場合、3 コーナーポストにてミススタートフラッグが提示されます。隊列はスタートを仕切りなおすため、再度ローリングの隊列を整え速度を調整しながら再スタートに向け走行します。このとき選手は手を上げ、「もう 1 周」の合図を出し、再びスタートの合図が出るまでグリッドポジションの変更や追い越しをしてはなりません。これに違反した場合はペナルティの対象となります。

13)ローリング(隊列)ラップ中の先頭車両が、9 コーナー立ち上がりのコース両サイドに設置されたパイロンとパイロンを直線で結んだラインに差しかかった時点でピットエリアからの出走はできません。

第35条 レース終了

1. ファイナルヒート 1 位の選手がフィニッシュライン通過後 2 分以内に車両が同ラインを通過した選手に対してチェッカーフラッグが振られます。
2. 先頭車両にチェッカーフラッグが提示された時点で、ピットロード出口はクローズとなりピットエリアにとどまっている車両は再度コースイン認められません。
3. 車両を押してチェッカーフラッグを受けることは認められません。
4. レース終了後のダブルチェッカーは厳重警告となります。
5. ファイナルヒート、トップでチェッカーを受けた選手に対しウイニングランを行う場合があります。
※オフィシャルが誘導いたします

第36条 完走

完走とはチェッカーフラッグに関係なく規定周回時間の 1/2 以上を完了していることとします。ただし、車両検査で適合しなければなりません。

第37条 順位の決定

レースの順位は次の順序により周回数の多い順に決定されます。

1. 完走者(チェッカーを受けた選手で車検を通過した選手)
2. 完走者(チェッカーを受けていない選手で、車検を通過した選手)
3. 不完走者(DNF)(完走扱いにはならないが、車検を通過した選手)
4. 不出走者(DNS)(順位はつかず、リザルトには掲載される、出走する意思はあったが結果、出走できなかった選手)
5. 失格者(DQ)(順位はつかず、リザルトには掲載されます)
6. 上記対象者が複数の場合は、ゼッケン順で並べます。
7. ペナルティ対象の選手が DNF 選手より順位が下回る場合は、DNF 選手を優先とします。

第38条 レースの中断

1. JAF 国内カート競技規則 カート競技運営に関する規定 第 9 章 第 35 条 レースの中断に準じ、赤旗提示の場合選手は直ちに速度を落とし、レースを中断するため追い越しをせず、オフィシャル指示に従い停止できる体制でホームストレート上のスタートライン手前で徐行して停止します。その場合、センターを空けて危険を回避することに努めてください。競技長の指示があるまでピットクルーはグリッド上への介入および車両の整備をおこなってはいけません。また、工具を用いた修理等は一切禁止されます。修復が必要になった車両はピットエリアで修理し、レースに復帰できる場合があります。
2. 悪天候により走行危険と判断した場合の赤旗時、選手はホームストレートに戻らずパドックインして雷雨等の危険から回避できるように対処します。

※ピットインゲート付近のオフィシャル指示に従ってください。

3. 赤旗によって競技中断となった場合、競技長より指示がない限りメカニック作業(プラグ交換やフロントフェアリングの修正)や給油等はできません。この場合、再スタートの時間を決め作業実施の有無や再スタート出来る車両の確認を行います。
4. 作業を実施する場合基本ピットエリアになりますが、最短時間で再出走出来る場合、コース上での軽作業を認める場合があります。赤旗後の処置については各ヒートで裁定が異なります。

第39条 レースの成立

レースの成立は次のように決定されます。競技時間を満了出来る場合と赤旗中断などで競技時間を満了出来ない場合があります。

1. 競技時間の場合 ⇒ 規定時間の 70%を経過していればレース成立とします。
※この場合、残り周回数が残っていても競技時間で決定します。
2. 周回数競技の場合 ⇒ 規定周回数の 60%を経過していればレース成立とします。

第40条 ニュートラリゼーションの実施

競技中、赤旗提示まではいかないと判断した場合、ニュートラリゼーションが発動されます。すべてのフラッグポストからデジタルイエローフラッグが点滅されると同時に、SLOWボードが提示され、コース上はニュートラリゼーションとなります。この場合、競技走行中の選手はトップを走っている選手を先頭に1列の隊列で周回をかさねます。選手はニュートラリゼーションが解除されるまで1列の走行が続きます。また、1列隊列走行中のラップも競技時間としてカウントされます。 ※このままコーションが続きレースが終了になる場合もあります。

注) レースの競技時間満了後のラスト1周ボードは提示されます

状況によっては、解除されず赤旗提示に変わる場合もあります。その時点で、レース成立規定時間（レース成立時間）に達していればレース終了になります。ただし赤旗になった場合は、赤旗通知の対処になりますのでご注意ください。

ニュートラリゼーション中の詳細は公式通知を掲示しますので、円滑な競技再開に向け参加選手は、ドライバーサイン、スピード調整、リスタートに向けてのルールを覚えてください。

1. 1 列隊列走行のスピード目安はタコメーター8000rpm 位とします。
状況に応じて変更する場合は、ブリーフィング時に告知します。
2. イエローフラッグの振動提示をおこない、全選手にニュートラリゼーション中であることをアピールします。先頭集団のカートは必ず速度を落とし安全なスピードを保持します。
この時ピットインは出来ませんが、コースに復帰する場合は必ず最後尾に着くこととします。
3. ニュートラリゼーション終了の合図は各ポストのイエローフラッグが振動提示から不動提示に変わり、SLOW ボードが下げられます。この合図で次の周から競技が再開されることを選手に知らせるサインとします。
4. 競技再開は、先頭の車両からポジション復帰禁止目印のレッドライン手前より、加速が許されます。ただし、1 列の隊列はコントロールラインを超えるまで継続し、追い越しは出来ません。コントロールラインに先頭の車両が接近し、センターポストでグリーンフラッグの振動提示を合図に競技再開となります。ただし、コントロールライン手前から、1 列隊列からはみ出し追い越しを始めた場合、隊列違反ペナルティの対象となります。
先頭の車両が 1 周するまで全ポストでフラッグが振動提示されます。
5. ニュートラリゼーション中の追越しはピットロードに侵入した車両と、トラブルにより減速したカートやスピードを維持出来ずラインを譲るカートがいる場合のみ認められます。

第41条 給油

レース中のピットエリアおよびダミーグリッド、コース上での給油は禁止とします。許可なく給油をした場合、当該ヒートの出走を認めないかレース途中の場合は当該ヒート失格とします。悪質な場合、レース除外とします。赤旗中断等による再走行準備のため給油する場合は競技長から許可が出たあとアナウンスによって給油が認められる場合があります。給油が出来る場所はピットエリアのみとなります。

第42条 信号旗

JAF 国内カート競技規則 カート競技会運営に関する規定第 3 章 に従ってください。競技旗やその他の合図は基本ホームストレートのメインポストからホームストレート側で提示しま

す。バックストレート側で提示する旗もあります。その他の競技旗は、各コーナーポストで競技委員が提示します。それ以外の方法を取り入れる場合は公式通知で発表します。

1. 白地に赤×(バテン)ボード ※6 コーナーで提示

ローリング隊列から大きく遅れたと判断され、白地に赤バテンボードが提示された選手は最後尾（または最後列）に着かなければなりません。

対象選手は、スタートが切られるまで最後尾（または最後列）を維持します。

2. 緑旗

前に合図した危険の解除

ダミーグリッドからのスタート合図は緑旗(グリーンフラッグ)を用います。

イエローフラッグエリア(追い越し禁止)の解除に用います。

デジタルイエローフラッグ提示ポストから、追い越し禁止解除ポストで、デジタルグリーンフラッグの点灯を提示します。 ※ニュートラリゼーション時、競技再開の時も使用します

3. 白黒旗

スポーツ精神に反する行為をした選手に対し、ピット停止を義務づけられる黒旗掲示の最終的警告で以下の場合、対象選手に対し積極的に白黒旗が提示されます。

ローリングスピード落とさない選手

ローリング隊列の自己ポジションを無視して乱す選手

軽度な違反行為、走行マナーが悪く、非スポーツマン的行為をして競技を乱す選手

スタート後に、同じ選手が白黒旗の対象になるような行為を重複して行なった場合そのヒートで白黒旗累積 2 回になり黒旗が提示され競技を停止し競技長の所まで出頭しなければなりません(白黒旗は、その他のヒートには累積されません)。

4. 青地に赤×(バテン)

周回遅れになろうとしている、もしくは周回遅れの選手に対して、ゼッケンナンバーと一緒に提示されます。青地に赤×(バテン)旗は競技長の指示によりメインポストで振られ、提示された選手は迅速にピットインしレースを止めなければなりません。

対象は **Junior MAX、MAX Masters、Senior MAX** クラスの**ファイナルヒート**のみとなります。

5. オレンジディスク旗（オレンジボール）※バックストレート側でも 1 回提示

競技中に、車両装備品の脱落や不具合発生または選手の安全装備品に不具合やその装備品に脱落が発生した場合などに対し、ピットエリアに戻りその箇所を修復し、競技に戻りなさいという状況で運用します。修復が完了するまで競技を再開できません。また競技残り僅かな周回や最終ラップの場合は、競技中のアクシデントによる車両装備品の脱落や不具合が発生したとしてもオレンジディスク旗を提示出来ない場合があります。

6. 黒旗

悪質または危険、選手マナーやモラルの欠如したルール違反の参加選手に対し提示されます。競技を直ちに停止し競技長の所まで出頭しなければなりません。

8. イエローフラッグ区間後のグリーンフラッグ振動提示の実施

イエローフラッグ区間の減速、追い越し禁止を、対象障害物ではなく、次のポストで提示するグリーンフラッグまでの運用とします。各選手は、グリーンフラッグ先から、スピードアップや追い越しができます。

注1 軽度なスピンや車両復帰が素早く行われた場合、グリーンフラッグを出す前に対象区間が解除になる場合もあります。

第43条 ピットクルーおよびピットエリア、パドック

1. ピット内およびピット作業エリア(ピットエリア)で作業できるのは当該クラスに出場している選手と登録されピットクルーのみとします。登録のない者がピットエリアで作業をするとペナルティの対象となります。
2. ピット作業をエリア外で行うと「ピット外作業」に該当しペナルティの対象となります。
3. コース内での回収作業、グリッド上でのスタート補佐などは、登録されたメカニックおよびピットクルーと選手のみとします。
4. ピットクルーの行為については、JAF 国内カート競技規則 カート競技会参加に関する規定 18 条 に基づき、選手に直接責任があるものとします。ピットクルーの規則違反で、対象選手に黒旗を提示することがあります。

5. ピットロードは必ず徐行しなければなりません。徐行を怠った場合や危険な走行はペナルティの対象となります。
6. ピットロードへ入った車両は、必ずピットストップしエンジンを停止しなければなりません。これに違反した場合はペナルティの対象となります。
7. 赤旗によって再スタートまでの時間内にメカニック作業や給油を行う場合、競技長の指示の元、ピットエリアのみ作業が認められます。
8. パドックエリアにおいて火気および発火物の使用は禁止されます。
9. ピットサインが出せる場所は、指定されたサインエリアのみとします。ピットサインエリア外でサインを出した場合ペナルティの対象となります。
10. 予選、プレファイナル、決勝時はローリングの隊列がコースインしたときから、隊列がスタートするまで、一部サインエリアへの立ち入りは禁止とします。

第44条 車両保管および公式車両検査

1. JAF 国内カート競技規則 カート競技会参加に関する規定第 3 章 に基づき、車両検査が行われます。公式車検ではレーシングスーツも車検の対象となります。CIK/JAF 公認実績のあるレーシングスーツの着用が義務付けられます。規則に不適合な部分がありながらも、なお技術委員に発見されなかった場合でも承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は旗の指示を受ける場合があります。
2. 公式車検の日時および場所は公式通知にて通知します(時間厳守)。
3. 各ヒート終了時には必備部品が備わっているものとします(必備部品の軽度なズレなどに関しては、技術委員長の判断になります)。
4. レースを終えた車両は、車検場で車両検査をおこない、車両の適合、不適合を大会審査委員または技術委員が審議し判断します。
5. ファイナルヒート終了後は、指定車両に対し車両保管および再車両検査を行います。
6. 車両保管の時間はレース終了後 30 分以上とし、所定の場所で行われます。
保管中は技術委員の指示があるまでは保管車両に一切触れてはなりません。
7. 車両保管解除後は、車両をすみやかに引き上げなければなりません。

8. 技術委員長は、スタートした全ての車両に対して検査を行なう権限を持ち、技術委員長より検査の指示があった場合は、参加者もしくは登録されたピットクルーが責任を持って、車両やエンジンの分解および組み立てを行うこととします。また、関係役員、エントラントおよび選手、登録されたピットクルー以外は検査に立ち会うことはできません。車検対象車両やエンジンの検査終了後は、すみやかにエンジン、部品、工具類など一式を必ず引き上げなくてはなりません。
9. 本条項の検査に応じない場合は失格とします。
10. 記条項の違反者には、大会審査委員会の決定するペナルティが課せられます。

第45条 その他競技に関する注意事項

1. 選手は、危険回避義務があることを十分に理解しなければなりません。
2. 停止車両が選手自身によって、再スタートならびに車両移動ができないと判断された場合、オフィシャルの手によって安全な場所に車両を移動する場合があります。この場合、通常はレースリタイヤとなり当該ヒート競技終了となります。また、危険地帯での停止や多重クラッシュによる車両の重なり等をオフィシャルが手を貸し救済補助する場合があります。このあとレースに一旦戻れたとしても、安全を優先し補助したので競技委員の判断により排除される場合があります。基本原則は、タイムトライアルおよびレース中にスピン等で車両が停止した場合は、他を妨害することなく後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合のみレースに復帰できるものとします。復帰するための最小限の方向転換は認められます。
3. Micro MAX、MINI MAX クラスの場合、車両を降りた時点で当該ヒート終了になりますが、緊急の場合救助を優先いたします。オフィシャルが手を貸したことによって、即リタイヤというのではなく、安全を第一に考えて危険箇所から避難させるためだけに補助する場合があります。通常は車両を降りるか、オフィシャルによって車両を移動させられた時点で当該ヒート競技終了となります。
4. ショートカットはオフィシャルの指示がない限り禁止となりペナルティとします。ショートカットについての解釈は、走路でない場所を走行した選手が、その行為により有利になる状態が発

生した場合を示します。ただし危険回避のため飛び出したあと、後続のカート位置を確認し、元のポジション付近やその後方に安全に復帰する場合は問題ありません。

5. 悪天候やレース進行上のトラブルによりクラス出走順を入れ替える場合があります。また赤旗によりレース中断した場合も同様の措置をとる場合があります。
6. タイムスケジュールの基準時計をコースに設置します。各ヒートのスタート定刻までにダミーグリッドに来ていない車両がいたとしても、時間通りにコースインとします。
公式のタイムスケジュールが早まった場合や遅れている場合に関しては、アナウンスでスタート時間をお知らせします。
7. 競技中に、吸気、排気装置にトラブル・脱落が発生した場合、ただちに安全な場所へ停止するかパドックに入って競技を終了しなくてはなりません。競技を続行している場合、その選手に黒旗の提示をして競技を停止させます。ただし、安全上問題がある場合は、その限りではありません(安全上問題がある場合、オレンジディスク旗で修理させる場合もあります)。

第4章 ペナルティ(罰則)に関する事項

第46条 ペナルティ

1. 2025 年競技規則に基づく危険・反則行為に対しペナルティを課します。ペナルティの判断は競技長や審査委員長(大会審査委員会含む)によって国内格式競技罰則やフェスティカサーキットグループの罰則(ペナルティカタログ)等の資料に基づき決定されるものとします。
2. ドライバーサインを怠った選手やドライバーマナーを厳守していない選手に対し注意、警告とすることがあります。
3. 競技会中の反則行為について、選手を停止させることなくペナルティを課す場合があります。

第5章 抗議、暴力等に関する事項

第47条 抗議

1. JAF 国内カート競技規則 第 13 章 に基づき、抗議は書面にて抗議料を添付の上、エントラントより競技長を経由して大会審査委員会に提出するものとします。
技術委員または車両検査委員の決定に対する抗議は車両検査後 **15 分**以内とします。
競技中の過失または反則に対する抗議はその競技終了後 **30 分**以内とします。
競技の成績に関する抗議はその発表後 **30 分**以内とします。
2. 大会運営役員に対する各抗議はエントラントのみ受け付けるものとし、抗議料は、現金 22,000 円とします。(JAF 国内カート競技規則・付則、カート競技に関する申請・登録等手数料規定に関する第 8 条に基づく)提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等の要した費用ならびに組み立て費用は被抗議者であるエントラントおよび選手の負担とし、これと反対に、当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は、抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられます。
3. エントラント及び選手の遵守事項
エントラントは自己に係る全ての者にすべての法規及び規則を遵守させる責任を有します。
エントラント、選手及びピットクルーは本特別規則の下で開催される競技会中に生じた事態についてコースの所有者、主催者とその関係者及び大会役員に対していかなる責任も追及できません。
4. エントラント、選手及びピットクルーは、競技委員やレースジャッジに対し、スポーツマンらしくらぬ行為や不謹慎な言葉遣い、暴言、威圧、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とします(施設退去の場合もあります)。
5. エントラント、選手及びピットクルーによる、競技会場での言葉による脅しや侮辱、威圧、暴力行為をした場合、主催者の判断により当該競技会失格、当施設からの退場、次戦のエントリー拒否等のペナルティを与えることができます。

主に、選手に対しての暴力(特に子供へ)選手間同士の暴力は目に余る物がありますので人道的な対応を心よりお願いいたします。

6. 主催者や大会審査委員、選手間に対して、SNS 等で誹謗中傷、侮辱をした場合、競技会の参加を取り消す場合やエントリーの拒否をする場合があります。
7. 規則の解釈、本規則ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものといたします。

第6章 賞典およびポイントレギュレーションに関する事項

第48条 賞典と副賞

1. 決勝の順位によって賞典対象を決定します。
2. 賞典は選手に対して行われます。
3. 内容は全クラス、次のように定めます。

各クラス 1～5 位まで

1 位	トロフィーと副賞
2 位	トロフィーと副賞
3 位	トロフィーと副賞
4 位	トロフィーと副賞
5 位	トロフィーと副賞

4. 賞典の対象は、決勝ヒートにて完走(完走扱い含む)した選手に限りです。
5. RMC ジャパンシリーズポイント賞典表彰は、各クラス別に行います。
6. 各賞典内容は変更になる場合があります。

第49条 ポイントレギュレーション

1. 各地域の MAX シリーズに関係なく、各ドライバーが出場したレースに対して RMC ポイントを基準に加算し集計します。

2024年 10月2日～2025年10月12日の MAX Festival までの大会が対象となり、有効 4 戦 + MAX Festival の合計 5 戦のポイントでランキングを決定します。

- 1)RMCシリーズ (MAX Festival 含む) に 5 大会以上出場した場合、大会毎に 2 ポイントの出場ボーナスポイントを加えるものとします。

出場ボーナスポイントは有効ポイント大会にかかわらず 4 大会分が加算されます。

- 2)出走台数が10台以上の場合、出走台数ボーナスポイントとして 1 ポイントを加えるものとします。

出走台数ボーナスポイントは 5 大会分を上限とし最大 5 ポイントとなります。

【注】RMCポイントは、各地域の MAXシリーズポイントとは異なります。

全国のMAX ドライバー年間ランキングを決定するにあたり、独自に集計されます。

- 3) ポイント付与について (与えられるポイントは次頁の表を適用します)
プレファイナル戦、決勝レースの完走者 (規定周回時間の 1 / 2 以上を走行し、車両検査で適合を受けたドライバー) のみに与えられ、不完走者、失格者および不出走者には与えられません。

- 4) 獲得ポイントが同一の場合は、以下の順で決定いたします。

- (1)上位入賞回数の多い者。
- (2)ポイント、上位入賞回数と同じ場合は、最終戦の成績が上位の者。
- (3)出場回数が多い者。

- 5) 各クラスのRMCポイント (栄光で別集計) は、MAX Festival 開催の10月12日で累計期間が終了し、GRAND FINALに招待する選手が決定されます。

また、10月13日以降に、各地域のMAX CHALLENGEシリーズで獲得したRMCポイントは、2026年の MAX Festival 開催時まで累積加算されます。

- 6) MAX Festival 開催時に獲得したポイントとRMCランキング集計順位表は、栄光のホームページ [http : //www.eikoms.com](http://www.eikoms.com) にて後日発表いたします。

7) プレファイナルヒート終了後の総合成績によって獲得できるポイント

[総合成績に付保するRMCポイント表]

通常の1.2倍

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	40.8	11	28.8	21	16.8
2	39.6	12	27.6	22	15.6
3	38.4	13	26.4	23	14.4
4	37.2	14	25.2	24	13.2
5	36	15	24	25	12
6	34.8	16	22.8	26	10.8
7	33.6	17	21.6	27	9.6
8	32.4	18	20.4	28	8.4
9	31.2	19	19.2	29	7.2
10	30	20	18	30	6
				31	4.8
				32	3.6
				33	2.4
				34	1.2

8) ファイナルヒート（決勝ヒート）の成績によって獲得できるポイント

[決勝ヒート成績に付保するRMCポイント表]

通常の1.2倍

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	66	11	50.4	21	38.4
2	62.4	12	49.2	22	37.2
3	60	13	48	23	36
4	58.8	14	46.8	24	34.8
5	57.6	15	45.6	25	33.6
6	56.4	16	44.4	26	32.4
7	55.2	17	43.2	27	31.2
8	54	18	42	28	30
9	52.8	19	40.8	29	28.8
10	51.6	20	39.6	30	27.6
				31	26.4
				32	25.2
				33	24
				34	22.8

第50条 RMCシリーズポイントの賞典

MAX Festival 終了時に RMC ポイントを集計し、2025 年総合ランキングを決定します。

正賞、記念品等の贈呈に関しましては、イベントプロモーター 株式会社 栄光より
決勝成績の発表後、表彰式を行います。

第7章 その他に関する事項

第51条 その他一般事項

1. 変更事項が生じた場合は公式通知にて通知します。
2. 技術委員に承認されたデータロガー(データ蓄積装置)およびタコメーターの使用は可能とします。ただし、データロガー用のトランスミッター(発信機)の設置場所はコース外としオーガナイザーによって承認された場所のみとします。
3. オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の一部あるいは全部を延期、中止する事ができます。なおエントラント、選手はこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を有しません。さらに、オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の内容を変更する権限もあわせて保有するものとします。これに対する抗議は認められません。
4. パドック、ピット、ピットエリア内での火気の使用は禁止されます(施設の告知や注意事項を守ってください。また、ゴミの不法投棄をした場合は施設内に投棄したすべてのゴミを必ず後日でも処理していただきます※罰金設定もあり 火災事故発生原因は施設から退場)。
5. 指定された場所以外での喫煙は禁止されます。
6. 使用するピット・パドックは主催者側で指定させていただきます。
7. 競技中の電光板表示(タイム・順位)およびレースアナウンスは、サービスとして行っているものであり、競技成績の暫定や正式との食い違いがあったとしても、審査委員会と計時による競技最終結果(リザルト)が優先されます。

第52条 競技車両に関する申請方法と手順

1. 車両に取り付ける車載カメラの申請は車検時または、次スタート 30 分前までに技術委員長に提出し了承を得てください。その後、事務局から大会審査委員会へ書類が回り承認されます。申請用紙は事務局から受け取るか、HP からプリントし使用してください。詳細は 30 条通りとします。申請料は無料です。

2. エンジン交換、シャシー交換の申請は、次スタート 30 分前までに技術委員長に承認を得て、申請用紙を事務局から受け取るか、HP からプリントし使用してください。
流れ⇒ 技術委員長の承認 ⇒ 申請用紙記入 ⇒ 事務局にて申請料を収める ⇒ 事務局から大会審査委員会へ書類が回る ⇒ 承認されグリッド表等の差し替え。
ここまでの作業があるので、必ず時間厳守をお願いします。
3. 詳細は 60 条、62 条通りとします。 ※申請料は記載の費用が必要です。

第53条 損害補償

1. すべての参加者は、自己の過失により、施設の器材、計測器等、その他諸々に損害を与えた場合は、その損害について責任を負うこととします。
2. 主催者および大会役員の業務遂行により起きた選手およびピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して主催、共済、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとします。

第54条 指定病院に関して

指定病院については下記のとおりとします。

- 1) 芳賀赤十字病院
〒321-4317 栃木県真岡市中萩 2-10-1
TEL:0285-82-2195
- 2) 済生会宇都宮病院
〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林 911-1
TEL:028-626-5500
- 3) 獨協医科大学病院
〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880
TEL:0282-86-1111
- 4) 自治医科大学付属病院
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL:0285-44-2211
- 5) 水戸済生会総合病院
〒311-4198 茨城県水戸市双葉台町 3-3-10
TEL:029-254-5151
- 6) 水戸医療センター
〒311-3193 茨城県茨城郡茨城町桜の郷 280
TEL:029-240-7711

第55条 本規則書の解釈

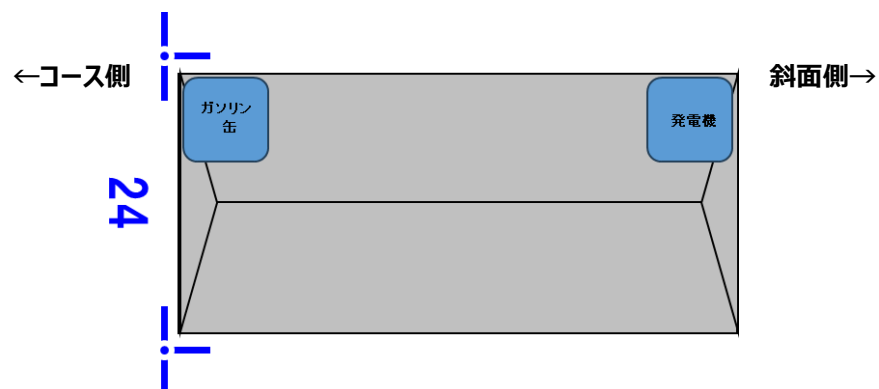
本規則書ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものとみなします。

第56条 本規則書に記載されていない事項

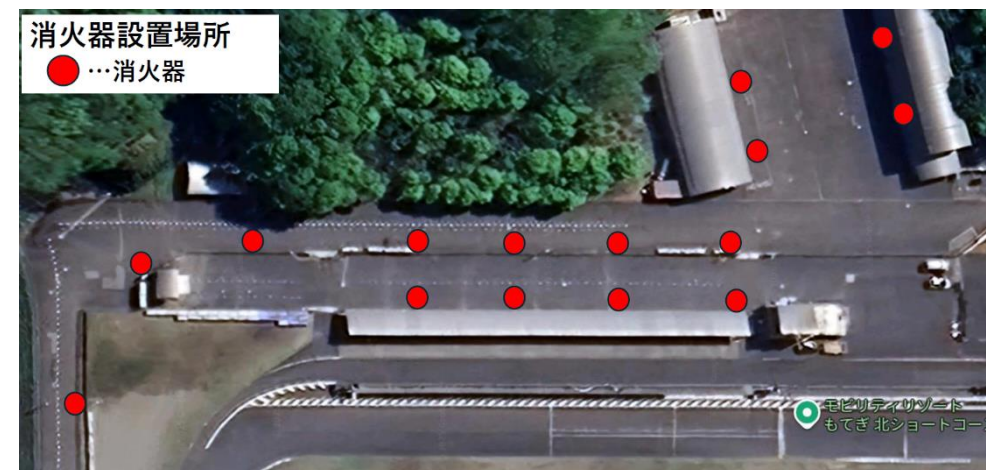
本規則書に記載されていない事項は、2025 FIA(国際自動車連盟)の国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、それに準拠した 2025 年 JAF(日本自動車連盟)国内競技規則と JAF 国内カート競技規則、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2025 MAX の車両規定、および本大会特別規則書とその車両規定に準拠します。

第57条 危険物取り扱いに関する事項

1. ピットパドックエリアでの火気取扱いについて
 - ・ピットエリアは**火気厳禁**となります。
(**石油ファンヒーター・電気ストーブ等の持込みも禁止となります。**)
 - ・ピットエリア内は**禁煙**とさせていただきます。喫煙はパドック内の喫煙所をお願い致します。
 2. ガソリンの貯蔵/容器について
 - ・容器は、危険物の貯蔵に相応しく、消防法により認可された金属製の容器に限定させていただきます。
 - ・消防法に基づき、テント内に持ち込み可能なガソリンは**最大で 40L 未満**となります。
 - ・**容器は必ず密栓し、直射日光を避け**、発電機などの電源から**最低 4m 以上**離れた位置に保管ください。
- ※テント内の具体的な保管位置につきましては、次ページの図をご参照ください



・北ショートコース内に消火器を設置しております。設置場所につきましては、下図をご参照ください。



3. 給油作業について

- ・カートや発電機への給油を行う際は、ガソリンの漏れや流出を防ぐ対策を施すとともに、周囲への漏れが確認された場合は、吸着マット等で速やかに拭き取り処理をお願いいたします。
- ・引火による事故を防ぐために、カートや発電機等への**給油作業の間は発電機やその他の電気機器の電源をお切りください。**

4. 廃油の処理について

- ・廃油はパドック内の廃油貯蔵庫へお捨てください。
- ・廃油缶の上には、**オイルフィルター**・可燃物（紙屑、ウエス等）を置かないようお願いいたします。
- ・使用しない時は、**必ず蓋をして**蒸気発生の防止をお願いいたします。
- ・廃油缶には**オイル以外のガソリン・混合ガソリン・塗料・シンナー・灯油・洗剤油等**を入れないようお願いいたします。

5. その他

- ・整備作業や給油を行う際、各チーム**最低 1 本以上の消火器をご用意いただくことを強く推奨いたします。**
推奨する消火器の種類とサイズ：ABC 粉末タイプ（内容量 **3.0kg**）
- ・危険物の特性および取り扱い方法などについて、関係者の皆様が十分認識し、安全にレース活動が行われますようご協力をお願いいたします。

第8章 カートに関する事項

第58条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録とエンジン交換規定

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは車両申告書に登録済みのものとし、次の個数が登録できます。

1. すべてのクラス

全クラス、規定に合致する仕様のエンジンを **2 基**まで登録することが可能です。

タイムトライアルやその他のヒート後にエンジン交換が生じた場合、登録内のエンジンに交換が可能です。

エンジンはシェアすることが認められます。ただし、エンジンシェアに関しては双方の選手またはチームがエンジン登録書にシェアすることを記入しなくてはなりません。

追加エンジン登録を公式車検後に行いエンジン交換を行った場合、公式練習、タイムトライアルには出走出来ますが、エンジン交換した選手のタイムリザルトは反映されることはなくノータイムとなり、予選ヒートのグリッドは最後尾（または最後列）となります。

エンジンを 1 基しか登録していなかった場合、タイムトライアル、各予選ヒート、プレファイナル等の後にエンジン交換が生じエンジンを追加登録する場合は、技術委員長に確認了承を得て、その後大会審査委員会の承認を得て、別なエンジンを 1 大会 1 回のみ追加することが可能です。この場合、次のヒートのグリッドは最後尾（または最後列）となります。車検後にエンジンを追加登録する場合、事務手数料として **5,000 円**を事務局に支払い、エンジン追加登録の手続きを完了してください。

登録済のエンジンが 2 基とも破損した場合、登録外のエンジンを 1 基追加登録し使用することを認めます。ただし、下記の要件を満たしていることとします。

- (1) 技術委員長が、2 基とも破損状態を確認し使用不能と判断していること。
- (2) エンジン交換書面提出し、大会審査委員会の承認を得ること。
- (3) その後の出走予定ヒートに間に合うよう作業が出来ること。

ヒート出走時間に遅延した場合、そのヒートの参加は認められず、DNS となります。

- (4) エンジンを追加登録する事務手数料として **5,000 円**を事務局に支払うこと。

(5) 出走予定ヒートのグリッドは、最後尾(または最後列)ということのを了承すること。

エンジン検査対象となる選手が、交換したエンジンまたはシェアエンジンでレースを終了した場合、交換した登録エンジン、シェアエンジン、使用部品すべてが車検対象となります。

エンジン交換によって、最後尾(または最後列)スタートの車両が複数いる場合、次ヒートのスタートは、エンジン交換申請書提出順にグリッドを決定します。

エンジンの交換申請書提出は、次出走ヒートのスタート **30 分前**までとします。

Class	シャシー	エンジン	タイヤ
Micro MAX	1 台	2 基	ドライ 1 セット ウェット 1 セット
MINI MAX			
Junior MAX			
MAX Masters			
Senior MAX			
MAX Lights			

第59条 カート

カートは本特別規則書技術規定に合致した車両であることとします。ただし、リブレ申請車両 MAX Masters 制限付き格式 において条件付き選手が使用する車両には、ハンドアクセル、ハンドブレーキ装置が搭載され、その装置はしっかり固定され、円滑、安全に機能しなくてはなりません。事前検査において万が一不具合があった場合は速やかに修復するか、または交換が必要となります。指摘された不具合が修復できない場合は競技に参加できません。

第60条 シャシー規定

1. 2 クラス以上のクラスに参加する場合、登録した 1 台のシャシーに、エンジンを載せ替えて参加することは出来ません。その場合、各クラス用に使用するシャシーを準備してください。
2. 一般市販品の保護プロテクターは装着可とします。ただし、シャシー剛性をあげるような素材や取り付け箇所によっては、取り外しを命じる場合があります。

3. 競技中の事故等によって登録したシャシーが使用不能になった場合に限り、未登録のシャシーに交換し次のヒートに参加することが出来ます。ただし、下記の要項を満たすこととします。

技術委員長が走行不能または、修理不能と判定していること
シャシー交換書面を提出し、大会審査委員会の承認を得ていること。

その後の出走予定ヒートに間に合うよう作業が出来ること。

ヒート出走時間に遅延した場合、そのヒートの参加は認められず、DNS となります。

シャシー交換申請手数料 **5,000 円**を事務局に支払い完了していること。

出走予定ヒートのグリッドは、最後尾(または最後列)ということを了承してください。

4. タイムトライアル直前のシャシー交換はタイムトライアルの結果に反映され、タイムトライアルへの出走は認められますがリザルトはノータイム扱いとなり予選ヒートのグリッドへ反映されません。

5. シャシー交換によって最後尾(または最後列)スタートの車両が複数いる場合、次ヒートのグリッドは、シャシー交換申請書提出順で次ヒートのグリッドへ反映されます。

6. エンジン交換による最後尾(または最後列)の車両とシャシー交換による最後尾(または最後列)の車両が重複した場合もグリッドは交換申請書の提出順で次ヒートのグリッドへ反映されます。

第61条 タイヤ

1. すべてのクラス

参加者は事前にレース登録タイヤ(ドライタイヤ・ウェットタイヤ)の両側面にゼッケンおよび指定されたアルファベットのクラス名を記入して下さい。

文字色については主催者が決定し事前に告知します。

公式車検にて指定コンパウンドのレース登録タイヤの封印を受けてください。 封

印後は下記 9)の事項以外交換はできません。

各クラスの指定コンパウンドタイヤに刻印されている回転方向(ローテーションの向き)は、装着時にすべて進行方向に合わせ、同じ回転方向を向いた状態で組付けされていなければなりません。この回転方向を間違えて使用した場合、ペナルティの対象となります。

指定コンパウンドの登録タイヤへの溶剤塗布、加工、表面を工具などによる削る行為などは禁止されます。その行為が発覚した場合、当該レースから除外されます。

器具や暖房機によってレース登録タイヤを故意に温めることは禁止されます。発覚した場合には、ペナルティの対象となります。

フリー走行のタイヤは各クラスの指定コンパウンド(ドライ・ウェット)タイヤ内で自由とします。タイヤ交換は認められます。 ※

フリー走行時のタイヤはローテーション規定対象外とします

タイムトライアルは、必ず封印された指定コンパウンドの登録タイヤにて出走してください。

タイムトライアル時にタイヤの製造不具合によるタイヤ不良が発生した場合、技術委員長の判断によって新品タイヤへの交換が認められる場合があります。

不慮のトラブル(バースト、タイヤの不具合)の場合、技術委員長の承認のもと 1 本のみ交換が認められます。その時の交換するタイヤは中古の同等品とします。

レース当日の路面コンディションが微妙で、ドライタイヤかウェットタイヤを使用するか判断に迷う場合、その判断をエントラント及び選手に任せる場合があります。 また間違いなくウェットタイヤを使用する路面コンディションの場合は、イコールコンディションと安全を考慮して使用するタイヤをコントロールします。

路面コンディションの著しい変化によって、使用しているウェットタイヤの性能では安全が確保できないと大会審査委員会が判断した場合、ウェットタイヤに限り、全選手が 1 セットを追加できる場合があります。ただし、交換は当該ドライバーの任意とします。

2. すべてのクラスのタイヤ規定

大会で利用できるドライタイヤは、2DAY で 1 セットとします。

封印されたレース登録タイヤでタイムトライアルに出走して下さい。

※土曜日はタイムトライアル後に封印する場合があります(公式スケジュール参照)

封印後の大会用タイヤは、63条9)の事項以外、交換はできません。

大会で利用できる新品のウェットタイヤは、2DAYで1セットとします。

大会で使用するすべてのタイヤをランダムに検査する場合があります。

注1) 封印の時間は公式スケジュールで発表します

【すべてのクラス注意事項】

使用する指定コンパウンドは、イベントプロモーターから販売するタイヤを使用することとします。ただし、フリー走行時の規定はありません。

【ウェットタイヤ注意事項】

イコールコンディションを保つため、全クラス使用する W5 コンパウンドは、イベントプロモーターから販売する新品を使用し、使用開始のタイミングもコントロールされます。

登録した新品のウェットタイヤを事前のフリー走行等で皮むきすることは禁止されます。

禁止事項を守れなかった場合、レース除外といたします。

第62条 最低重量

各クラスの最低重量は以下の通りとします。

Class	最低重量	Class	最低重量
Micro MAX	105kg	MAX Masters	一般：165kg 60歳以上：160kg
MINI MAX	115kg	Senior MAX	160kg
Junior MAX	145kg	MAX Lights	160kg

第63条 フロントフェアリング位置規定

1. 指定のフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合、ペナルティになります。違反寸法、加工取り付けのないように装着してください。

2. フェアリングペナルティの判定は次の通りとします。

競技中の接触による脱落や正しい装着位置からのずれが発生した場合

(1) 起因に関係なく、対象車両はすべてペナルティとなります。

例1：スタート前に何かの接触によってフェアリング取り付け位置が規定よりずれた…

例2：パルクフェルメ進入時に前車に接触でずれた…

正規の位置からずれたフロントフェアリングを修正した場合

(1) 走行中に足などを使い、位置を修正しようとする行為

(2) 停止した際に、位置を修正しようとする行為

(3) パルクフェルメで、位置を修正しようとする行為

競技終了後、パルクフェルメにて競技委員と選手にて確認し決定します。選手は指示が出るまで、車両から降りることはできません。

車両検査において、フロントフェアリングおよびブラケット、クランプへのフロントフェアリングが脱落しにくくなる加工や改造、著しい破損(亀裂等)が見られ、技術委員長が不適と判断した場合にも、フロントフェアリングペナルティの対象となります。次ヒートから不適と判断されたフェアリングを使用することは出来ず、別の物へ交換すること。

1 ヒート内で、フェアリング位置規定違反とその他の違反があった場合、重複したペナルティとなります。また、悪質かつ危険な行為があった場合は、当該ヒート失格となる場合もあります。

競技委員の確認前に参加選手自身、メカニック(ピットクルー)、チーム員など、誰でも故意に位置を修正すれば、その車両は失格となり参加していた競技から除外され、成績は抹消されます。

第9章 クラス別規定

第64条 クラス別規定

1. Micro MAX クラス

1) シャシー：全長 950mm 以下で JAF 国内カート競技車両規則に合致する

第 1 種競技車両か、特別に主催者が認めたものに限り(シャシー改造や加工は一切禁止)。

シートサブステーの取り付けは禁止します。

2) エンジン：ROTAX 125 Micro EVO とし、一切の変更、改造は禁止され市販状態とします。補記類も純正品とし一切の変更・改造は禁止され、取り付けもメーカー指定通りとします。

(1) スキッシュ：最小値 2.40mm

(2) EVO 黒色クランクケース (パーツ番号 295915)

(3) 最小メインジェット番数：# 105 以上

(4) シリンダー (パーツ番号 223991 / 刻印番号 223994)

(5) リードバルブのディスタンスプレートを必備

3) キャブレターインナーリストラクター (パーツ番号 267536)

4) EVO 電装関係

5) Micro EVO マフラー-ASSY (パーツ番号 273136)

6) ホイールサイズ：

・ドライ フロント：130 mm幅以下、リア：150 mm幅以下 公差+2 mm

・ウェット フロント：130 mm幅以下、リア：180 mm幅以下 公差+2 mm

7) ギア：フロント 15T/リヤ 73T

8) その他：詳細は、ROTAX MAX Challenge Sporting Regulations 2025、ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2025 Micro MAX に準拠します。

2. MINI MAX クラス

1) シャシー：全長 950mm 以下で JAF 国内カート競技車両規則に合致する第

1 種競技車両か、特別に主催者が認めたものに限り(シャシー改造や加工は一切禁止)。

・シートサブステーの取り付けは禁止します。

・一般市販品の保護プロテクターの装着可否詳細は、ROTAX MAX Challenge Sporting Regulations 2025、ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2025 と、本規則書に準拠します。

2) エンジン：ROTAX 125 MINI MAX EVO とし、一切の変更・改造は禁止され市販状態とします。補記類も純正品とし一切の変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。

(1) スキッシュ：最小値 1.20mm

(2) EVO 黒色クランクケース (パーツ番号 295915)

(3) メインジェット番数指定なし

(4) シリンダー (パーツ番号 223991 / 刻印番号 223994)

(5) リードバルブのディスタンスプレートを必備

3) キャブレターインナーリストラクター (パーツ番号 267536)

4) EVO 電装関係

5) MINI EVO マフラー-ASSY (パーツ番号 273137)

6) ホイールサイズ：指定なし

7) ギア：フロント 14T/リヤ 73T

8) その他：詳細は、ROTAX MAX Challenge Sporting Regulations 2025

ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2025 MINI MAX に準拠します。

3.【 Micro MAX クラス、MINI MAX クラスのマフラー規定 】

EVO マフラスプリング（パーツ番号 938798）4 本を必備することとします。

注1） スプリングを外した状態で、エンジン側にマフラーが必ず密着していなければなりません

注2） 1 支点型マフラスターの使用禁止につき、必ず 2 支点型マフラスターを使用

注3） マフラーおよびマフラスプリングのガタつきは一切みとめられません

※技術委員長が上記に適用しない状態であると判断した場合、当該ヒート失格となります。

失格となった後、指摘された修正や規定の部品交換が確認されれば、その後のヒートに参加することができます。

4. Junior MAX クラス、MAX Masters クラス、Senior MAX、MAX Lights クラス

シャシー：

- ・ JAF 国内カート競技車両規則に合致する第 1 種競技車両か、特別に主催者が認めたものに限り（シャシー改造や加工は一切禁止）。
- ・ 一般市販品の保護プロテクターの装着可否詳細は、ROTAX MAX Challenge Sporting Regulations 2025、ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2025 と、本規則書に準拠します。

エンジン：ROTAX125MAX(Senior MAX、MAX Masters、MAX Lights)、

ROTAX125 Junior MAX(Junior MAX)とし一切の変更、改造は禁止され市販状態とします。補記類も純正品とし一切の変更、改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。

(1) スキッシュ：

- ・ Junior MAX：最小値 1.20mm
- ・ MAX Masters：最小値 1.00mm
- ・ Senior MAX：最小値 1.00mm

(2) 使用するパーツは純正品に限ります。ただし、以下の変更は認められます。

- ・ ベースガasket：使用数およびサイズは自由とします。

(3) バッテリー：ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2025 記載の「Ver.1」「Ver.2」「Ver.3」のみ使用可能とします。

(4) ラジエター：純正品のみ使用し、改造は禁止、や取り付け位置もメーカー指定の通りとします。

(5) インテークサイレンサー：純正品のみ使用可能とします。

- ・ Version2 の本体を使用。

- ・ 装着するエアフィルターは、ROTAX 純正の、1 層構造の黒色、2 層構造の緑/オレンジ、2 層構造の緑/濃い緑“Twin Air”の 3 種類内、いずれかを使用すること。エアフィルターの加工、改造は一切禁止とします。

(6) マフラー：純正品のみ使用し、消音装置の消音部材のみ交換は認める。消音部材以外改造は一切認められません。

ホイールサイズ：指定なし

その他：

- ・ 詳細は、ROTAX MAX Challenge Sporting Regulations 2025、ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2025 に準拠します。

【 記載なき事項は 2025RMC 瑞浪特別規則書に準じます 】

【 記載なきペナルティ事項は 2025 瑞浪ペナルティカタログに準じます 】

2025年 車両規定表

	Micro MAX	MINI MAX	MAX Light	Junior MAX	MAX Masters	Senior MAX
シャシー	※注 1 参照 全長 950MM 以下		※注 1 参照			
エンジン	125 Micro MAX EVO	125 Mini MAX EVO	125 MAX Lights	125 Junior MAX	125 MAX	
キャブレター	デロルト XS					
プラグ	NGK GR8DI-8、GR9DI-8					
オイル	XPS / SYNMAX					
ドライタイヤ	MOJO C2		MOJO D1 (4.5/7.1)	MOJO D2 (4.5/7.1)		MOJO D5 (4.5/7.1)
ウェットタイヤ	MOJO W5 (4.5/6.0)					
スプロケット	ドライブ×15、リア 73 丁	ドライブ×14、リア 73 丁	スプロケギア歯数選択自由			
	リアギアの指定歯数はチェーンと駆動する実数であることとし、研磨歯数減や歯数が飛んでいる場合ペナルティとなります					

車両規定表注意事項

注 1 : JAF 国内カート競技車両規則に合致する第 1 種競技車両か、特別に主催者が認めたものに限りです。(シャシー改造や加工は一切禁止)
一般市販品の保護プロテクター装着可詳細は、
2025 Sporting Regulations、2025 RMC Technical Regulations と、
2025 本大会特別規則書に準拠します。

注 2 : Micro クラスの年齢は当該年度として扱います。Micro クラスに参加する
1 年生は参加資格を満たしている者に限られます。